

レディガガ・ビヨンセ・ケシャなど有名セレブリティを顧客に持ち、絶大な信頼を得ている LA 在住ネイリスト MIHO さんにお話を伺いました。

LA に渡ったきっかけから世界を舞台に活躍する心得について話して頂きました。

●海外でネイリストになられたきっかけを教えてください。

10 代の頃から美容が好きで、手に職があるといいなと思い、トータルビューティの専門学校に進学しました。

卒業後、東京のネイルサロンに就職し、サロンワークの他に PR の仕事も任されていました。

そんな中、会社から海外進出の話が出、LA 店の立ち上げリーダーとして抜擢される事に。

「アメリカで日本のネイルアーティストという立場を確立させたい。」という目的での海外進出で、当時コンサルに入っていた今の夫からの推薦でした。

LA は好きで何度も遊びに行っており、出店した際にはお手伝いには行くだろなと思っていましたが、まさか自分がトップとして抜擢されるとは想像もしておらず、初めは戸惑いました。

英語も話せないし、海外で生活する事をそれまで考えた事もなく、悩みましたが人生一回だし、折角のチャンス。

一心発起、チャレンジしてみよう！と思い、渡航を決断。

推薦のお話を頂いてから2時間後には返事をしていました。

●渡航されてからはどのようなお仕事をされていましたか？

2012 年に渡航し、店舗リーダーとして店舗管理、教育、PR、サロンワークを行いました。

立ち上げから携わり、日々充実していましたが、次のステップに進むタイミングを感じ、独立を決めました。

2014 年より夫にスポンサーになってもらう形でフリーランスとしての活動をスタート。

有難い事に独立してすぐに SNS を通じて仕事の連絡を頂け、紹介や繋がりで、どんどん依頼が増えていきました。

独立してから今まで、サロン営業はせずに、撮影やプライベートネイル施術で対応しています。

撮影現場でも声を掛けて頂く機会が増え、案件の内容も量も想像していた以上に多岐に渡り広がりました。

●今はどのようなお仕事をしていますか？

撮影やプライベートのネイルワークを中心に、商品開発も行っています。

また、今年 6 月より日本に住んでいる方向けに夫とオンラインサロンを立ち上げました。

コロナ禍の自粛期間中にインスタライブをしたことがきっかけで海外に移住したい方、国内外問わず起業したい方との繋がりが増え、アドバイスをする機会が多くなりました。

プロデュース業などで活動する夫と私の日々や考えを発信することで、ネガティブな考えがポジティブになったとの声も頂け、長いスパンで夢を持つ人たちの為に動きたいと思い、オンラインサロンを作りました。

コンテンツ内容や企画はメンバーやフォロワーさんからもアイデアを貰いながら運営しています。

今はメンバーとの交流や相談、日々のアウトプット発信が日課になり、私たちにとっても日々の活力になっています。

●ご自身の持ち味は何だと思いますか？

クライアントからの要求やどんな現場環境でも対応する、イエスマンである事だと思います。

現場での時間はとてもタイトで、ヘア・メイク・ネイルと同時に進めることがほとんどです。

こういう机でないとダメ、時間がこのくらい必要、と主張して完璧なものを作る事はプロとして当たり前のごとで、現場環境にこだわらず期待以上の作品を作る事を常に心掛けています。

どんな場所、環境下、時間であっても受け入れ、任されている仕事を完璧にする。

私にとっては当たり前の事をしているだけですが、この事を現場やクライアントから評価頂き、信頼して頂く事が多いです。

スピード感を持って仕事をする事も大事にしている、現場では「NINZYA(忍者)」と呼ばれることもあるくらいです。

あとは自分自身のアピールや余計な主張はしない。

自分がその場で何が求められているか考え、期待以上のものを作り上げる姿が、何も主張しなくても結果的に自己 PR になっているかなとは思っています。

現場は撮影チームで決めることがほとんどなので、自分に求められているニーズをその都度考えていてネイルデザインや仕事内容を却下された事が一度もありません。

一人のアーティストとして必要とされ信頼してもらう事が大事ですね。

私、自分で日本人の中では空気が読めないと思っていますが(笑)、アメリカで生活していると空気が読める気質の日本人でいてよかったな、と思う事が多いです。

●デザインはどのように考えますか？

日本のネイルサロンに勤めていた時から社内で新作デザインを作ったり PR をしていたのでデザインを考える事は得意でした。

アメリカに来てからは現場に長く入っているのでヘアやファッション、撮影など間近で第一線のプロの技を見る事で感性を磨ける環境は恵まれていると思っています。

デザイン制作は自分のアトリエではなく、現場で作っています。

当日、衣装や内容を見て、インスピレーションを受け、限られた時間内で仕上げる事がほとんどです。

●これからやりたい事はありますか？

ネイルワーク、商品開発は引き続き行っていきたいです。

あとは日本向けの発信にもっと力を入れていく予定です。

「レディガガやビヨンセのネイリストが日本人」とアメリカ国内では知られていますが、まだまだ日本では知られていないように感じます。

私の姿を日本に向けて発信することで、夢を持つ人たちの背中を押せるきっかけになればと思い、その一つとしてオンラインサロンを始めました。

多くのセレブを担当している事で、凄い！と言って頂ける事もありますが、決して自分が特別な訳ではないと思っています。

目標を達成する為にはどうすればいいかしか考えず、決断して動いて今があります。

ネイリストになった事も LA に来た事も、大きな案件を任された事も全て、ただただ好きな事を突き詰めてきただけで、目の前の壁を厚いと思った事はありません。

海外に行きたい、起業したい、など夢を持っている人は多いと思いますが、「私なんて」と日本人らしい控えめな考えで自分から夢を遠ざけているようにも感じます。

そんな事はない。生まれも育ちも特別でもない私がここまで来ている行動や考えを伝える事で、夢を持つ人たちの勇気に繋がればいいなと思っています。

アメリカで暮らし、日本人でいて得している事も多いので、今後は日本向けに恩返しができる活動も広げていきたいです。